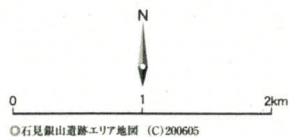


中国自然歩道 石見銀山街道コース 温泉津・沖泊道



- 中国自然歩道 温泉津・沖泊道モデルコース(車道区間)
- 中国自然歩道 温泉津・沖泊道モデルコース(歩道区間)
- その他の中国自然歩道(車道区間)
- その他の中国自然歩道(歩道区間)
- その他のトレッキングコース(車道区間)
- その他のトレッキングコース(歩道区間)
- 銀山街道関連道
- 観光案内所
- トイレ
- 駐車場
- 案内看板
- 指標



13 沖泊(おきどまり)港
16世紀後半に銀の精出し等で栄えた天然の良港。棚島(くしじま)へ続く海岸部には船をつなぐ「鼻ぐり岩」が多数見られる。



12 ゆうゆう館
1300年の歴史を有する温泉津温泉の温泉津港側の玄関口にあり、2階が資料館、1階が休憩所となっている。

蛇島



11 やきものの里
やきものの里には、「ハンド」と呼ばれる大きな水瓶が有名な温泉津の巨大な登り窯があり、やきものの創作体験もできる。細い道を下れば温泉津温泉街方面。産業道路を西へ進めば沖泊方面。



10 松山の道標(車道・歩道分岐点)
「右銀山大森・いづも大社」と刻まれた福光石の道標。



9 清水の大師入口(車道・歩道分岐点)
ここから約2km車道を上った高台に清水大師寺があり、180度日本海を望める絶景である。



8 清水の金桶約(かみひやく)
清水集落の民家の石垣の下から泉がわき出ている。銀山街道を往來する人々はここで聞いたのを聞いた。名前は代官が金属のひやくを奉納したことに由来する。



7 中村の題目塔(車道・歩道分岐点)
歩車道分岐点から約10m東側に中村の題目塔があり、側面には「右ハゆさともみ 左ハゆのつみち」と記されている。



6 五老の「橋」(歩道分岐点)
降路坂の西の登り口。車道(県道201号線)を下れば西田の集落。車道を約2.5km上り、トンネルの先の登山道入口から約30分登山道を登ると矢野城山の山頂に達く。



5 降路坂(ごうろが)の茶店跡(峠)
降路坂(ごうろが)は、温泉津沖泊道最大の難所で、峠にはかつてあった茶店の礎石が残る。



4 坂根口(車道・歩道分岐点)
降路坂の東の登り口。かつて、この付近に番所が設置されていた。



3 山吹城登山口
銀山街道・新ヶ浦道の分岐点。山吹城は、標高414mの要害山山頂にある城跡で、戦国時代30年にわたって、小笠原・尼子・毛利氏が銀山の支配を巡りこの城の争奪戦を繰り返した。



2 銀山橋(銀山公園入口)
銀山公園には、観光案内所や石見銀山ガイドの会の事務所があり、情報を入手することができる。また、300m先に露漢(ろかん)寺(五百羅漢)がある。



1 大森代官所跡(石見銀山資料館)
銀の採掘が最盛期だった江戸時代、銀山は天領となり、徳川幕府直轄の代官所が置かれた。当時の門や長屋も残る跡地は現在資料館となっている。

周辺の見所



A 大森の町並み
武家、町家、社寺が立ち並び、かつての銀山町の雰囲気を残す大森の町並みは、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。



B 仙ノ山
銀鉱石は、最大の久保間歩をはじめ主にこの山から掘り出された。



C 矢野(やた)城跡
標高634mの山頂は眺望がよく、仙ノ山、山吹城跡、三瓶山、温泉津港までパノラマが広がる。



D ヨスクの里
ふくろう(ヨスク)の姿に似た独特の形をしているハデ(秋に刈り取った稲を天日干しするもの)は、ヨスクハデと呼ばれる。

